

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成25年10月24日 (2013.10.24)

【公表番号】特表2013-504751(P2013-504751A)

【公表日】平成25年2月7日 (2013.2.7)

【年通号数】公開・登録公報2013-007

【出願番号】特願2012-528391(P2012-528391)

【国際特許分類】

G 0 1 N 33/68 (2006.01)

G 0 1 N 33/493 (2006.01)

G 0 1 N 27/62 (2006.01)

G 0 1 N 27/447 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 N 33/68

G 0 1 N 33/493 A

G 0 1 N 27/62 V

G 0 1 N 27/26 3 1 5 K

G 0 1 N 27/26 3 3 1 E

【手続補正書】

【提出日】平成25年9月4日 (2013.9.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

【図 1】本発明のマーカの質量およびキャピラリー電気泳動の移動時間 ( C E - T )、  
ならびに該マーカのいくつかについての配列を示す図である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 4 4 】

1 . サンプル調製

診断用のポリペプチドマーカを検出するために、尿を使用した。健康なドナー（対照群）および血管疾患に罹患している患者から尿を採取した。その後の C E - M S 測定のために、限外ろ過によって、患者の尿に高濃度で含まれるタンパク質（アルブミンおよび免疫グロブリンなど）を分離する必要があった。そこで、7 0 0  $\mu$  L の尿を採取し、7 0 0  $\mu$  L のろ過バッファー（2 M 尿素、1 0 m M アンモニア、0 . 0 2 % S D S ）と混合した。この体積 1 . 4 m L のサンプルを限外ろ過した（2 0 k D a、ザルトリウス社、ドイツ、ゲッティンゲン）。1 . 1 m L の限外ろ液が得られるまで、遠心機を用いて 3 0 0 0 r p m で限外ろ過を行った。